

Noovle、セルフサービスポータルでシステム管理をモダナイズし、生産性を向上



Noovle はイタリアの大手電気通信事業者である TIM グループの企業で、民間企業および公営企業にクラウドサービスを提供しています。幅広いオーダーメイドのサービスを提供する同社では、複雑な異機種混在環境が必要とされ、また、10 人のチームが 15,000 を超えるシステムを管理しながらその他の業務もこなしていました。Noovle は、ワークロードを分散し、アプリケーションとサービスの所有者が自分のサーバーを安全に管理できるようにするため、Red Hat Insights および Red Hat Satellite を活用してセルフサービスポータルを設計し、Red Hat® Enterprise Linux® 上にデプロイしました。今では、ユーザーが必要なものはすべて一箇所からアクセスできます。また、環境への可視性が向上し、簡単にパッチを適用して常に最新の状態に保てるようになりました。それと同時に、セキュリティチームはすべてのアクティビティを明確に把握できるので、全社的な基準やプロセスへの準拠を確認できます。これにより業務効率が向上するだけでなく、セキュリティ、コンプライアンス、アップグレードが単純化され、Noovle の従業員の生産性も向上しました。

質問: Noovle について、また、同社がデジタル・トランスフォーメーションを加速させたいイタリアの顧客をどのように支援しているのか教えてください。

Noovle クラウドおよびインフラストラクチャ・システム・エンジニア Claudio Mastrapasqua 氏: Noovle は、2021 年に TIM グループによって設立された会社で、クラウドおよびエッジ・コンピューティング分野におけるイタリアのセンター・オブ・エクセレンスです。弊社は、民間企業や公営企業、地方自治体といったお客様に対して、デジタル・トランスフォーメーションのサポートを行っています。全国規模のデータセンター・ネットワークを活用してオーダーメイドの B2B サービスをお客様に提供しており、イタリアをリードするクラウドパートナーになることを目指しています。ハイブリッドクラウド、プライベートクラウド、マルチクラウド環境において、高水準のデジタルエクセレンスとセキュリティを実現する革新的なソリューションを提供しています。

質問: お客様に幅広いサービスを提供することで、社内システムが複雑化する可能性があります。環境の管理に関して、どのような課題に直面しましたか？

Noovle クラウドおよびインフラストラクチャシステムエンジニア Stefano Rana 氏: さまざまなデジタルサービスをお客様に提供するには、異機種混在環境が必要です。Noovle には、15,000 を超える物理システムとハイブリッドシステムから構成されたマルチ・プラットフォーム環境があり、わずか 10 人の担当者が、その管理を他の業務と並行して行っていました。

環境全体におけるセキュリティとコンプライアンスの維持は、複雑かつ多大な時間を要し、私たちは時間との闘いの中で迅速に対応しながら、システムの安全を守り、パッチを適用し、常に最新の状態に保っていました。同時にセキュリティチームでは、Linux サーバーの管理データから、ステータスのアップデート、アプリケーションデータ、テナント、サブグループに至るまで、会社全体を網羅した可視性を確保する必要がありました。以前はその手段がなかったため、新しいアプローチの採用を決めて、内部顧客が自社システムをより自由に管理できるよう、一元的なエンタープライズレベルのソリューションを設計しました。

アプリケーションやサービスを実行するサーバーを内部顧客が管理できるようにすることで、チームの業務を分散化し、時間を節約できると気づきました。しかし、セキュリティ基準に準拠しつつ適切な人が適切なデータを確認できるよう、正しい方法でこれを実現する必要がありました。また、チーム間での作業の重複を避け、SLA を遵守する必要もありました。

質問：達成したい目標の明確なビジョンがあったようですが、その実現のために考慮する必要があった技術面およびコンプライアンス面の要件は何でしたか？

Noovle Linux コンピテンスセンターマネージャー Luigi Genoni 氏：私たちは、各システムのアップデート状況や適切なレベルのセキュリティが適用されているかの確認など、複雑な法的要件を満たし、社内の規則も遵守する必要があります。さまざまなチームがこの責任を負っていますが、全員が状況を把握する必要があります。重要なデータやサービスに影響を及ぼすあらゆるセキュリティ侵害のリスクを低減するため、弊社では 6 カ月から 12 カ月の間隔でシステムをアップデートしています。そのため、新しいシステムでは、簡単かつ一貫した方法で規制を遵守できること、そして、パッチの適用を監視し促進するツールが備わっていることが重要でした。

そこで私たちは、簡単にユーザーが自分のデータとシステムにのみアクセスできるように、API 経由で接続できるソリューションを探すことにしました。システムの監視とアップデートのインストールに必要なものをすべてユーザーに提供しつつ、アプリケーションやデータへの不正アクセスのリスクを防げるソリューションです。セキュリティ上の理由から、インターネットに直接アクセスできないため、弊社のネットワーク・セキュリティ・ポリシーに準拠したソリューションを見つけることが重要でした。

フロントエンドについては、ユーザーがログインして必要な情報や機能をすぐに利用できるよう、ウェブポータルを構築したいと考えていました。また、問題のスキャンと修復を自動化する機能も組み込みたいと考えていましたが、これは Playbook を活用して適切にタスクが実行されるようにすることで実現できました。

質問：現在使用している Red Hat ソリューションと、このプロジェクトに Red Hat が最適な理由について教えてください。

Noovle クラウドおよびインフラストラクチャシステムエンジニア Sergio De Cillis 氏：私たちは、すでに Red Hat Enterprise Linux 環境の管理に使用していた Red Hat Satellite に接続するポータルを構築し、システムを分析して改善策を提案する Red Hat Insights を導入しました。

Red Hat とは長い付き合いがあり、何年にもわたって密接に連携してきました。以前は、システムの管理や会社の成長に向けた計画策定において、Red Hat チームのサポートを頼りにしていました。

Red Hat Insights を紹介されたとき、ハイブリッドクラウド・インフラストラクチャや共通脆弱性識別子に対する可視性をユーザーに提供するためにセルフサービス・プラットフォームを構築するという私たちのビジョンと合致したツールだと感じましたし、高度なコンプライアンス機能とマルウェア検出機能は、新しいソリューションの基盤として理想的でした。

プラグインを有効化して、システム管理とトラッキングツールを提供する Red Hat Satellite に接続すると、各ユーザーに関連するすべてのデータが統合され、ユーザーが自分のプロフィールにログインするとそれがダッシュボードに表示されます。アップデートの実行時に何らかの問題が発生した場合にユーザーがロールバックできるよう、プロビジョニングとデプロイ後の必要な作業、パッチの適用、修正、スナップショットの作成を自動的に行うためのリンクも追加しました。

これらはすべて、Linux システム管理者の Sergio Ricchiuti、シニア IT システムアナリストの Andrea Coni、テクニカルエリアマネージャーの Tommaso Di Loreto をはじめとするチーム全員のおかげで実現できたことで、彼らは皆、ポータルの成功に欠かせない存在でした。

質問: 現在は誰がこのプラットフォームを使用していますか？また、管理しているシステムの数はどのくらいですか？

De Cillis 氏: 大勢の内部顧客、つまりサービスやアプリケーションを担当する複数のチームがプラットフォームを使用しています。私たちは引き続きシステムエンジニアとしての役割を果たしていますが、今では各チームが自分たちのサービスやアプリケーションの管理と保守を担っています。

現在、社内システムの約 50% は Red Hat Insights および Red Hat Satellite で管理しており、最大 8,000 ものシステムを対象にパッチおよびアップデートの適用、セキュリティおよびコンプライアンスの確保を行っています。マルチテナント環境全体からの情報は、アプリケーションコードやセキュリティレイヤーに基づいて収集およびフィルタリングされた後、さまざまなグループのユーザーに提供されます。また、ユーザーは自分のサーバーやインベントリを管理するために必要なツールをすべて利用できます。

会社全体で管理を分担することで、全員が作業しやすくなりますが、これには会社全体のコンプライアンスを確保するために必要な情報を把握できるセキュリティチームも含まれます。

質問: Noovle において、ポータルはどのような良い変化をもたらしましたか？また、ビジネスにはどのような影響を与えましたか？

Mastrapasqua 氏: ポータルを活用すれば、アプリケーションやサービスが実行されているサーバーを気にせず、一元的にデータを管理できるため、セキュリティ、リスク管理、コンプライアンスが向上します。ユーザーが必要なものはすべて 1 つのポータルから利用でき、これまで手作業で行っていた修復などのタスクも自動化できます。15,000 ものシステムを 10 人で管理する体制では、そのようなタスクに膨大な時間が必要でしたが、

今では適切なレベルの分析情報に基づいて仕事を分担し、必要なところにサポートを提供できます。各グループが自分のシステムの管理とパッチの適用を行えるようになり、サービスに影響が及ぶ前にパフォーマンスの問題や異常を先回りして特定できるため、サポートチケットが 20% 減少しました。

また、Red Hat Insights を使用すれば、インターネットに直接接続しなくても情報を利用できます。ネットワークセグメントがカプセル、アウトプットデータ、およびパケットに直接接続されるため、ユーザーは社内ネットワーク経由でそれらにアクセスできます。これにより、コンプライアンスを確保しつつ、環境全体のネットワーク・セキュリティを強化できています。

Noovle は組織として、多数のシステムと発生するあらゆる問題を一元的に把握できるようになり、システムや問題のグループ化、優先順位付け、管理がしやすくなりました。プロビジョニング後の作業、トラッキング、ウイルス検出を自動化したことで、時間が節約され、サービスのセキュリティが向上しました。また、ベストプラクティスが実行され、システムが安全で最新かつコンプライアンスに準拠しているという自信も深まりました。

質問: Red Hat との関係およびポータルは、今後どのように変化すると考えていますか？

Genoni 氏: Red Hat との関係と同様に、この適応性に優れたソリューションは、これからさらに進化します。複雑な課題を解決し、社内では対応できる業務を拡大させることに成功したネイティブ・ソリューションの実現を、私たちは誇りに思っています。そして、今後はこれをグローバルに展開したいと考えています。

私は学生の頃、家庭教師が「旅のアイデアを生徒に提供し、生徒と一緒に達成できることを見つけるのが私の仕事だ」と話してくれたことに感銘を受けました。私はそれと似た道りを Red Hat と共に歩んでいると感じています。私たちは Noovle で一緒にシステムを構築しつつ、Red Hat が製品や機能を形づくるのを支援してします。さまざまなことを試してはフィードバックを提供する。私たちは常にこれを楽しんでいます。このような関係性は Noovle と Red Hat の双方にとって有益で、両社のロードマップの推進力となり、その結果として私たちの提供するサービスは今後ますます向上していきます。

Noovle について

イタリアの大手電気通信事業者 TIM グループの一員である Noovle は、国内の民間企業や公営企業向けにオーダーメイドのプライベートクラウド、ハイブリッドクラウド、マルチクラウドのサービスを提供し、価値を生み出し続けています。同社はクラウド・サプライチェーン全体にアジャイルかつスケーラブルなソリューションを提供し、国内で最大規模のデータセンター・インフラストラクチャを有しています。



Red Hat について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、既存および新規 IT アプリケーションの統合、複雑な環境の自動化および運用管理を支援します。受賞歴のあるサポート、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、フォーチュン 500 企業に信頼されるアドバイザーであり、オープンな技術革新によるメリットをあらゆる業界に提供します。Red Hat は企業、パートナー、およびコミュニティのグローバルネットワークの中核として、企業の成長と変革を支え、デジタル化が進む将来に備える支援を提供しています。

アジア太平洋

+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア

1800 733 428

インド

+91 22 3987 8888

インドネシア

001 803 440 224

日本

03 4590 7472

韓国

080 708 0880

マレーシア

1800 812 678

ニュージーランド

0800 450 503

シンガポール

800 448 1430

中国

800 810 2100

香港

800 901 222

台湾

0800 666 052

fb.com/RedHatJapan
twitter.com/RedHatJapan
linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com
#FXXXXX_XXXX